

シリーズー召命ー

どうして神父さまに!!

小立花忠 神父



今回は京都教区司祭小立花忠神父にお話を伺いました。



(2009年6月、2010年6月に掲載したシリーズの続編です)

○は編集子

●は小立花神父

- ご家族・家庭環境などはどうでしたか。
- 父は牧師の息子、母はカトリックという家庭環境でした。
- 子供のときの話を聞かせてください。
- 生まれた時は4300グラムで、順調に人の倍の体重で成長しました。
- カトリックとの出会いを聞かせてください。
- 母がカトリックファミリーだったから。



2017年 高校生夏体験学習

- 洗礼を受けられたときの話を、聞かせてください。
- 不思議な出会いが重なって、洗礼に至りました。幼児洗礼ではありません。
- 神父様になろうと思われた話を、聞かせてください。
- 「10日間の霊操」をしている時のことです。み言葉が降って湧いてきたような、イエスのみ言葉を世界中で共有したいという思いが突然、やってきたような感じでした。罪深い私のために、いつも寄り添ってくださっていた
- 神を発見しました。これまで自分のために自分の時間を使っていましたが、神のために時間を使いたいと思いました。
- 神学生のころはどうでしたか？
- 闇の中を歩いているような9年間でした。叙階式で神はその闇を吹っ飛ばして下さいました。
- 司祭になるまでの話を、聞かせてください。
- 神との対話、祈りの中で、いろいろなことを神から教えていただきました。

た。また、それをサポートして下さる神父様、シスター、信者さんに出会えたことも神の御計画の一つだったのだと思います。そして、神の不思議なわざによって、神父にさせていただいたのだと思います。

○ 司祭叙階されて何年ですか。

● 丸5年が過ぎました。

○ 司祭になってからどうでしたか。

● 毎日、夢中になっています。

○ 司祭になられてから、楽しかったことや喜びを聞かせください。

● 神と人との交わり自体が楽しく、嬉しいことです。キリストの教会はそれを実現させてくださっています。キリストさえおられたら、すべてが楽しい、嬉しいことになります。また、特に主日ミサなど、たくさんの人が教会に集まりミサを捧げるとき、とてつもない神のパワーを実感し、嬉々としています。復活祭やクリスマスなど、気分が高揚しすぎて、皆さんにご迷惑をおかけしているかもしれません。

○ 今のお気持ちを聞かせください。
● 神に感謝。これだけです。